

# 第65回全国消防技術者会議の開催報告

## 消防研究センター

11月29日（水）及び30日（木）の2日間にわたり、第65回全国消防技術者会議が、東京都港区虎ノ門のニッショーホールで開催されました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表し、消防職員や消防団員をはじめとする消防関係者間での意見交換を行う場として、昭和28年より毎年開催されているものです。また、第62回より、「消防防災研究講演会」を同時開催しています。

29日には、特別講演、平成29年度消防防災科学技術賞の表彰式及び受賞作品の発表を行いました。30日には、公募した研究成果の発表12件と、消防研究センターにおける研究成果等を発表する第21回消防防災研究講演会を行いました。また、昼休みに会場ロビーで展示発表を行いました。内容は、29日は消防防災科学技術賞受賞作品の中から消防防災機器等の開発・改良に関するもの10件、30日は一般発表の中からの3件でした。2日間で全国から延べ1,000人を超える方々の参加がありました。

特別講演では、東京大学西成活裕教授に、「群集運動のメカニズムと対策～渋滞学の視点から～」と題して御講演いただきました（写真1）。車やアリ、人の渋滞を観測・実験し、数学モデルで再現し、そこに潜む渋滞のメカニズムを解明していく過程が分かりやすい言葉で説明されました。出口の手前に棒を一本立てるだけで、出口に殺到する群衆がより早く避難できるという実験映像や、実際の群衆が圧死にいたる映像の解析結果など、非常にインパクトの大きい内容が紹介されました。人の渋滞の問題は避難時の危険性に直結しているため、質問が絶えることがなく、消防関係者にとって非常に有益な講演となりました。

第21回消防防災研究講演会は、「2016年糸魚川市大規模火災」をテーマとし、消防研究センターから「火元付近の建物について」、「飛び火による被害」、「火災初期の出火地点付近の風について」、「糸魚川市大規模火災への市街地火災延焼シミュレーションの適用」と題して4件の発表を行いました。また、糸魚川市消防本部から「新潟県糸魚川市大規模火災に学ぶ」と題して実際の消防活

動や教訓について、消防庁消防・救急課から「糸魚川市大規模火災を踏まえた対応策」について発表がありました（写真2）。

次回の全国消防技術者会議の開催に関しましては、決定次第、消防研究センターホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）等により御案内させていただきます。



写真1 西成教授による特別講演の様子



写真2 消防防災研究講演会の様子

### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331（代表）